

WG C (ダム跡地利用) ワーキンググループ 第1回会議・議事録

- 日時 平成16年11月4日(木) 14:00~15:45
- 場所 諏訪合同庁舎・講堂
- 出席者 14名
事務局
- 配布資料 第1回 WG - C 資料『蓼科ダムサイト周辺 現況概略図』(裏面:治水ダム建設事業 上川 茅野市 蓼科ダム)(事務局より配布された)
- 会議概要** 冒頭、茅野 Gr 長よりダム跡地利用グループの第1回会議を開催する旨挨拶。事務局よりOHPによる映像でダム建設の経過及び跡地の現状を説明した。事務局の説明に対する質疑応答及び今後の進め方について意見交換した。
- 決めたこと** 席上事務局より説明されたダム跡地の航空写真を後日グループメンバーに配布する(A3カラーコピー)
- WG - C(ダム跡地利用)ワーキンググループの入退会は原則自由(協議会会則通り) 尚、メンバー各自から入会を呼びかけてよい。
- ダム建設事業費のうち平成14年度までに要した72億円余の内訳について次回会議にて事務局より説明する。
- (事務局:関連資料は合庁1階行政コーナーでも閲覧できる)
- 『跡地利用』についてグループメンバー全員からそれぞれの思い、構想をA4用紙1枚にまとめ11月末日までに事務局に提出する。(次回会議はこれらの資料を含め検討資料とする)
- 跡地の現地調査を行う。(申しこみなし現地集合)**
- 11月14日(日) 集合:午後1時 集合場所:茅野市・笹原ため池
- 第2回会議は12月第2週とし別途決める。
- 主な意見など(発言は要旨である。事務局以外、発言者氏名は省略している)**
- 跡地がシカ、イノシシなどの楽園になり周辺耕作地の被害が激しい。
- 跡地外周の一部にフェンスを建設していくことを要望していく。
- 跡地利用はみどりのダム構想や森づくりが望ましい。
- 『治水と森林』などのテーマで学習会を行っては?(信大の講師など)
- 跡地利用への思いを出し合い2~3回の打合せで他グループと足並みをそろえて提案をしていく必要がある。周辺意見も必要。
- 現在の跡地は河川用地として、国庫補助をうけて取得したもので名義は国土交通省である。治水目的以外の用途は補助金を返還する問題が生じる可能性がある。現在申請準備中の「諏訪圏域河川整備計画」には跡地利用の計画は含まれていないのでそれぞれの計画は切り離して考えてよい。ダム計画は河川整備計画が認可されてから取下げを行うことになると思う。
- 跡地内の県道付け替えは、ダム事業で行うことはできない。(事務局)